

令和2年度起業支援事業費補助金採択者で開業された方を訪問

7月1日（木）

木津川市にある事業所の「イロイロ」を訪問し、個人事業主である鎌倉さんに出迎えてもらいました。



●鎌倉さんにヒアリング

（起業しようと思った動機）

前職は京田辺市で飲食店に勤めていましたが、店舗オーナーの私情により閉店してしまいました。新たな店舗物件を探している折、不動産の写真を撮る仕事をしている知り合いがこの物件を紹介してくれました。

（事業のアピールポイント）

店舗が主要な道からは外れた場所にあるため、メニューや味付けに工夫をし、わざわざ食べに来くなるようなお店を目指しています。

メニューやお店のコンセプト等は全て、前のお店で一緒に働いていた友達と二人で考え、食材はなるべく道の駅や駅前販売で仕入れ、地域の農家さんに還元できるよう地産地消を意識しています。

また、インスタグラムを開設し、店舗の情報を公開すると共に予約も全てインスタグラムのダイレクトメッセージにて受け付けています。

現在は木津川市商工会が実施する知恵の経営ステップアップ補助金を活用し、より詳しい店舗情報を載せるためHPも作成中です。

(今後の事業展開)

まずは1年を通して集客の流れを把握し、コロナの状況を見つつ、飲食だけに留まらないワークショップ等を開催し、人が集まって交流できる場を作っていきたいとのことでした。

移住先で自分の可能性を広げる事ができるというモデルケースになり、地域活性化の役に立てればとのことでした。

●中小企業応援隊の声

初めて物件を見たときは、ぼろぼろの倉庫で完成するのか不安でした。ただ、過疎地域に人を呼びたいという熱い想いと、多くの協力者のもと見事期間内に完成にされました。

補助金の申請は、想いがあっても審査をされる方へ伝わらなければ採択に至りません。鎌倉さんの想いをイメージしてもらえるように支援をさせていただきました。

コロナ禍の中の開業となりましたが、概ね順調な滑り出しをされています。また、過疎地域への人口流入にも貢献されているようです。今後も、コミュニティの中心となるべく永続していただきたいと思います。

地元食材を使ったランチ（左）

起業支援事業費補助金を活用して古民家を改装（右）

